

BLU-103 の VoIP 設定方法

BLU-103 では、SIP サーバ (IP 電話サーバ) として
Cisco Unified Communications Manager や Asterisk が使用できます。

【 最低限必要な設定項目 】

・ VoIP ネットワーク

Connection Type (Static を推奨します)

(CISCO の場合、登録する際に、この MAC Address が必要になります)

・ Line1、2 Tones

Ring Type 着信音「classic」か「silent」を選択します

Auto Answer Ring Count 電話がかかってきたときに自動応答を指定します

・ Line1、2 Protocol

User Name SIP サーバに登録したユーザ名 (内線番号)

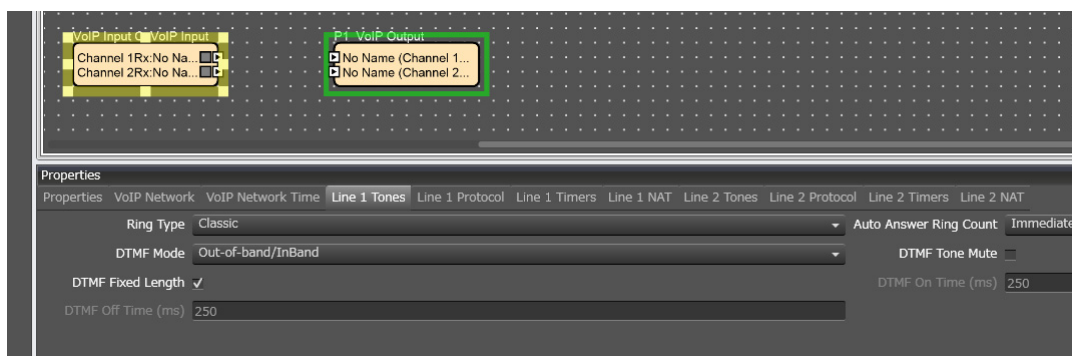
Authentication Name SIP サーバに登録したユーザ名 (内線番号)

Password SIP サーバに登録したパスワード

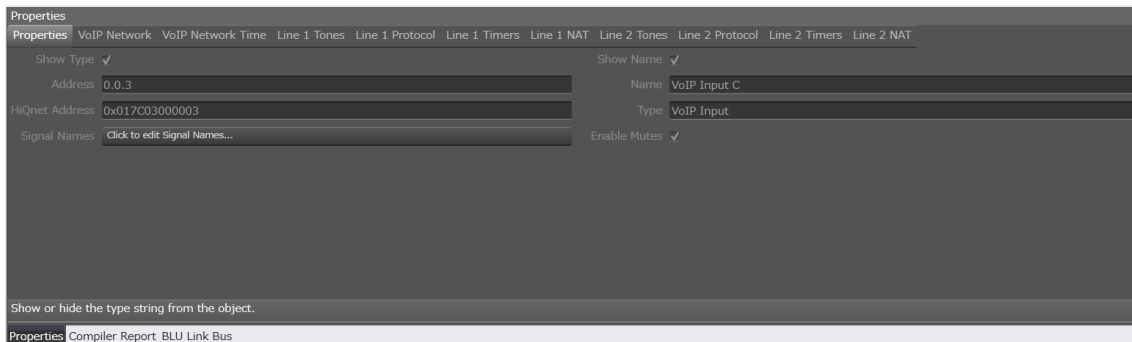
Display Name 電話先相手に表示される名前 (Caller ID)

残りは初期値 (デフォルト) のままです。

設定項目は、下図のように、BLU103 中の VoIP Input のプロパティ内にあります。



下図は、BLU103 中の VoIP Input のプロパティ内の「Properties」項目です。



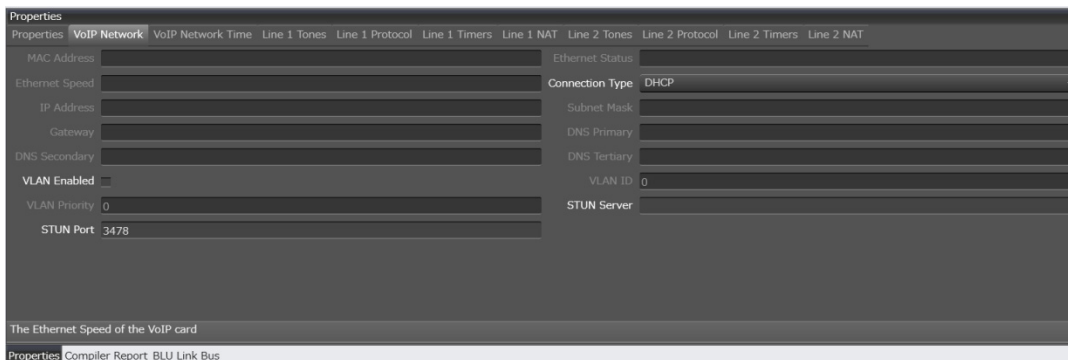
Address オブジェクトアドレス

Name オブジェクト名

HiQNet Address . . . HiQNet アドレス (デバイス ID)

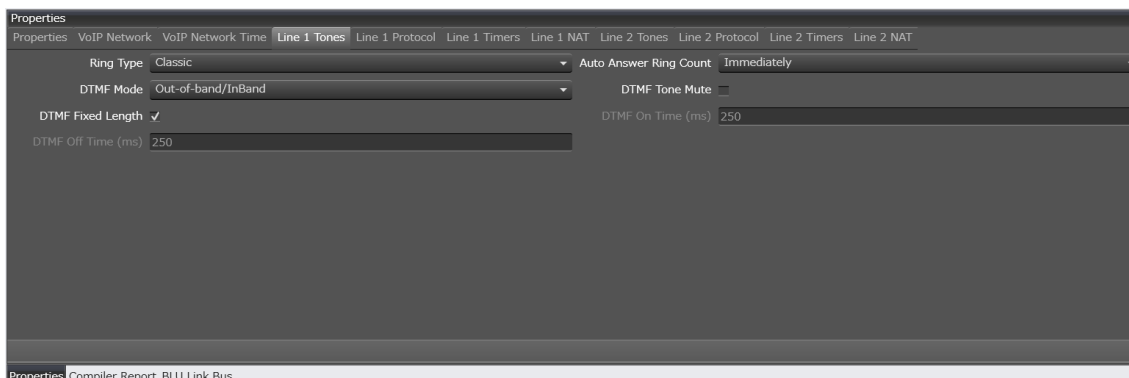
Signal Names インプット信号名を入力します

「VoIP Network」項目です。



- ・ **MAC Address** BLU-103 の VoIP ポートの MAC アドレス
(オンラインにしなければ見えません)
- ・ **Ethernet Status** VoIP ポートのリンク状態
- ・ **Ether Speed** VoIP ポートのリンクスピード
- ・ **Connection Type** Static、DHCP を選択 (Static を推奨します)
- ・ **IP Address** VoIP で使用する IP アドレス
(Audio Architect で使用するものとは別のものです)
- ・ **Subnet Mask** サブネットマスク
- ・ **Gateway** デフォルトゲートウェイ (ルータ) の IP アドレス
- ・ **DNS Primary** プライマリ DNS サーバの IP アドレス
- ・ **DNS Secondary** セカンダリ DSN サーバの IP アドレス

「Line 1 Tones」項目です。

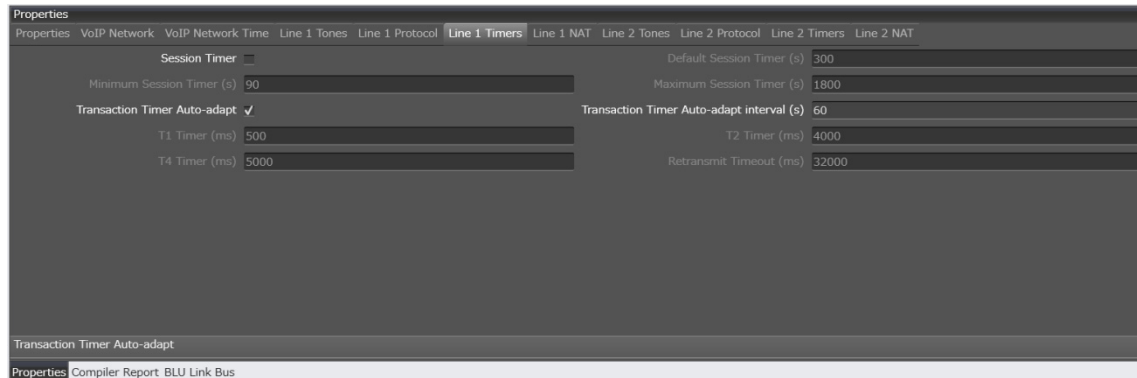


- ・ Ring Type 着信音「classic」か「silent」を選択します
- ・ Auto Answer Ring Count . . . 電話がかかってきたときに自動応答を指定します
- ・ DTMF Mode トーン発着信 (Dual-Tone Multi-Frequency) の使用を設定します
- ・ DTMF Tone Mute DTMF トーンをミュートします
- ・ DTMF Fixed Length DTMF トーンの長さが固定 (160msc) です
- ・ DTMF On Time DTMF トーンの長さです (50msec~1000msec)
- ・ DTMF Off Time DTMF トーン間隔の長さです (50msec~1000msec)

「Line 1 Protocol」項目です。

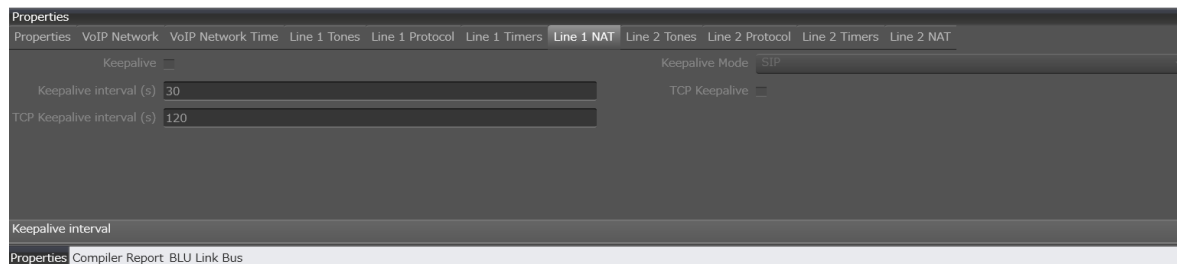
- ・ **User Name** SIP サーバに登録したユーザ名です。
- ・ **Authentication Name** SIP サーバに登録したユーザ名です。
- ・ **Password** SIP サーバに登録した認証パスワードです
- ・ **Display name** 電話先相手に表示される名前です (Caller ID)
- ・ **Domain Name** SIP サーバのドメイン名もしくは IP アドレスを入力します
(ドメイン名を入力する場合は DNS サーバを正しく設定してください)
- ・ **STUN Enabled** STUN サーバへの接続を有効にします
- ・ **Register with Domain** ドメイン名を含めて登録します
- ・ **Registration Life** 再登録期間 (初期値 : 3600 秒
ネットワーク管理者が指定しない限り、
この値のままにしておいてください)
- ・ **Registration Retry** SIP サーバへの登録が失敗したときのリトライ間隔時間 (秒)
- ・ **Proxy Address** SIP プロキシサーバの IP アドレスを設定します
- ・ **Proxy Port** SIP プロキシサーバへの宛先ポートを指定します
- ・ **Signaling Port** SIP サーバとの通信に使用する Line1、Line2 の
ポート番号です。(初期値 : LINE1=5060、LINE2=5061)
- ・ **SRTP Preference** Secure Real-time Transport Protocol、
TCP または TLS に設定されている場合に使用できます
Allowed、Preferred、Required に設定することができます
- ・ **Transport** Auto、TCP、TLS、UDP Only (UDP Only は Ver2.0 以降)
- ・ **RTP Port Start** RTP で使用ポートの範囲です
- ・ **RTP Port End** RTP で使用ポートの範囲です

「Line 1 Timers」項目です。



- ・ **Session Timer** セッションが切れたかを確認します
 (意図せず通話が切れたときに自動的に通話を切断します)
 意図せず、通話が勝手に切れてしまう場合、ここにチェックを入れないでください
- ・ **Default Session Timer** セッション確認間隔の初期値
- ・ **Minimum Session Timer** セッション確認間隔の最小値
- ・ **Maximum Session Timer** セッション確認間隔の最大値
- ・ **Transaction Timer Auto-adapt**
 SIP トランザクションタイマーの値を調整します。ネットワーク上の不要なメッセージの再送信と障害を減らすことができます
- ・ **Transaction Timer Auto-adapt Interval**
 Transaction Timer Auto-adapt が有効になっているときにネットワーク往復時を測定する間隔を秒単位で指定します (初期値：60 秒)
- ・ **T1 Timer** RTT の推定値です
 限定的なネットワークでない限り 500ms 以下は推奨されません。しかし、ローカルネットワークなど閉鎖されたネットワークの場合、500ms 以下に設定してもよいです
 一方、インターネットなど RTT が 500ms が大きくなることが予想される場合は、500ms よりも大きくすることが推奨されています
- ・ **T2 Timer** INVITE リクエスト以外の再送処理における、最大再送間隔 (4000msec)
- ・ **T4 Timer** 既に処理が終わったメッセージの生存時間 (5000msec)
- ・ **Retransmit Timeout** INVITE を送信する際の再送タイムアウト時間 (32000msec)

「Line 1 NAT」項目です。



- ・ **Keepalive** . . . NAT を使用する際、SIP サーバにキープアライブパケットを送信します
- ・ **Keepalive Mode** . . . SIP、Register を選択します
- ・ **Keepalive interval** . . . キープアライブパケットを送る間隔を指定します
- ・ **TCP Keepalive**
 - ・ . . . NAT を使用する際、SIP サーバにキープアライブパケットに TCP を使用します
(通常は、こちらのほうが望ましいです)
- ・ **TCP Keepalive interval** . . . キープアライブパケットを送る間隔を指定します